

TOHO 東宝 SCOPE

総天然色

悪魔が宇宙の落し子が完全犯罪に賭けるガスマン!

ガスマン

「美女と液体人間」「電送人間」につづく
空想科学映画第三弾!



製作 田中友幸
監督 本多猪四郎
特技監督 円谷英二

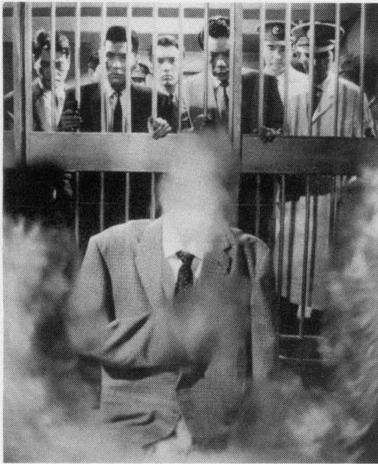
三橋達也
佐多契子
八千草薫
土屋嘉男
野村浩三
伊藤久哉
左藤久
佐々木孝丸

脚本 木村武志
撮影 清水喜一
美術 藤好昌志
録音 高島利雄
照明 宮内国郎
音楽 荒木秀三
特撮 荒木秀三
撮影 荒木秀三
美術 荒木秀三
照明 荒木秀三
録音 荒木秀三

新人 佐多契子

新人 八千草薫

ガスマン 第一号



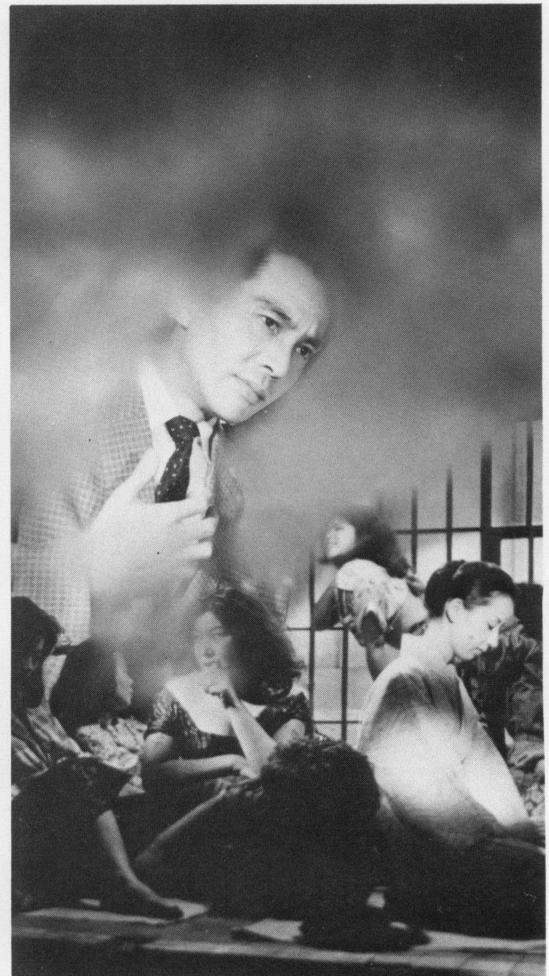
■ものがたり

吉祥寺にある銀行をおそったギヤングは、岡本警部補の必死のついせきにもかかわらず日本舞踊の家元、藤千代の家のあたりで消えてしまった。

ギヤングのソツのない手口から、犯人は社会的地位のあるインテリ階級のもの、犯人ではないかと岡本は考えた。そして発表会を開くため、金をバラまいている藤千代の身辺をさぐりはじめる。

銀行の札のナンバーと、藤千代がバラまいた札のナンバーが一致し、犯行の疑いで藤千代はたいほされてしまった。ところが岡本の恋人で東京新報の記者京子のところへ、明日新宿の銀行をおそうという予告電話があった。そして手ぐすねひいていた警備員にアツサリつかまってしまった。この犯人の自供に不審をもつ岡本達には、橋本という青年が自分から真犯人と名のり、犯行を再現してみせる。そしてみんなの目の前で、白いひとすじのガスに変ると、意志をもった生物のように、支店長にせまり、殺してしまつた。

橋本こそはガス人間だったのだ。おどろく岡本たちにガス人間は、藤千代には罪がない、すぐしゃくほうしろろという。みすみすガス人間のいうままに応ずることはできず、藤千代



をおとりにしてガス人間をたいほしようとするが、ガス人間は看守をおそい囚人たちを脱獄させてしまった。しかし藤千代は、けつぱくなのになら自分から逃げることはない、無罪を主張、堂々と警視庁の門から出て行つた。

一方、東京新報の京子はガス人間にインタビューを申込み、おびき出した。ガス人間は、「私は人間が宇宙旅行を自由にできるための、人体による実験の失敗によって、いつでもガス状になるガス人間にされてしまった。それでふつうの人間にはできぬことができるようになった」とはなす。

藤千代の発表会の当日、藤千代がガス人間の愛人ということで人気をよび、会場はいっぱいの人であつた。ガス人間はねっしんに舞台をみていたが、ふとしたことで正体をあらわし、会場は恐怖の場となつてしまつた。

すべての観客がたいひした後、劇場爆破をするが、爆発はおこらない。舞台では藤千代がガス人間にだかれみつめ合う。そして藤千代のライターが光つたとたん大爆発がおこつた――

■スタッフ

製作 田中 友幸
脚本 木村 武
監督 本多猪四郎
特技監督 円谷 英二
撮影 小泉 一
美術 清水喜代志
録音 藤好 昌生
照明 高島 利雄
監督助手 梶田 興治

■キャスト

岡本警部補……………三橋 達也
甲野京子(婦人記者)……………佐多 契子
ガス人間……………土屋 嘉男
藤千代……………八千草 薫
田端警部……………田島 義文
稲尾刑事……………小杉 義男
警視庁幹部……………佐々木孝丸
猫背の老人鼓師……………左 冬樹
佐野博士……………村上 冬樹